

# 第22回 しずおか川自慢大賞

日時：令和7年2月23日（日）  
12：30～16：30

場所：もくせい会館 1F 富士ホール

主催 しずおか川自慢大賞実行委員会  
しずおか流域ネットワーク

協力 静岡県河川協会  
昭和設計株式会社

## 開催にあたり

昔、川の流域に文明が栄えました。世界4大文明の発祥の地…黄河、インダス川、チグリス・ユーフラテス川、ナイル川に思いをはせ、そして身近な川を見直してみると、川はずっと昔から私たちと密接な関わりがあったことに気づきます。人は流域で暮らしを営みました。川の恵みの様々を享受し、喜び、またある時は川の力に圧倒され、打ちひしがれ、その力に打ち勝とうとし … 喜怒哀楽すべてが、人と川の間にあります。「しずおか川自慢大賞」に集う人たちは、川との喜怒哀楽を積極的に受け止めている人たちでしょう。

この集いは、22回目を迎えます。今年は9組の川に遊び川を学ぶ子どもたちや、川に取り組むおとなたちが集います。

より広く思いを伝え、お互いを知り合う場です。はじめての人も再会する人もいます。お互いを知ることで、より深い思いが育まれてくるのだと信じています。場の運営も、川に遊び、学び、取り組む人たちが、実行委員会を作っておこなっています。さあ、みんなで「第22回しずおか川自慢大賞」を、楽しみましょう。

令和7年2月23日

しずおか川自慢大賞 実行委員会  
会 長 長橋 孝行

## 「しずおか川自慢大賞」これまでの歩み

- 第1回 平成13年10月27日 参加数 14  
大賞：レル・オンジュ 「吉田川・軍田ヶ谷川の自然観察」
- 第2回 平成14年10月26日 参加数 18  
大賞：富士市立今泉小学校4年生 「ぼくらの友だち田宿川」
- 第3回 平成16年1月17日 参加数 22  
大賞：大井川みずがきネットワーク 「大井川みずがき倶楽部」
- 第4回 平成17年1月29日 参加数 15  
大賞：静岡みずがき倶楽部 「こんなに育ちました」
- 第5回 平成18年2月25日 参加数 18  
大賞：焼津水産高校2年 成島弘国「薮田川カワバタモロコの保護活動」
- 第6回 平成19年2月18日 参加数 14  
大賞：大井川町立大井川南小学校 「すごいぞ土合川！」
- 第7回 平成20年2月16日 参加数 16  
大賞：大井川町立大井川南小学校 「大好き、大井川！」
- 第8回 平成21年2月21日 参加数 14  
大賞：静岡県立静岡農業高等学校 「安倍川水系の恵み ワサビを守る」
- 第9回 平成22年2月20日 参加数 12  
大賞：焼津水産高等学校「トラフグの種苗生産、放流による地域への貢献」
- 第10回 平成23年2月26日 参加数 13  
大賞：佐鳴湖の環境を考える会「佐鳴湖自慢」
- 第11回 平成24年2月25日 参加数 13  
大賞：袋井市立今井小学校「太田川たんけんたい」
- 第12回 平成25年2月24日 参加数 13  
大賞：静岡市立西奈南小学校 学校応援団父親楽校「長尾川★せいそう隊」
- 第13回 平成26年2月22日 参加数 12  
大賞：みずがき倶楽部 「子ガメとみずがきの不思議な冒険」
- 第14回 平成27年2月22日 参加数 8  
大賞：坂口谷川 花と芝生を守る会「坂口谷川の環境美化活動」
- 第15回 平成28年1月30日 参加数 9  
大賞：牧之原市立勝間田小学校「勝間田大好きたんけん隊」
- 第16回 平成29年2月18日 参加数 9 + 2 (交流枠)  
大賞：みずがき倶楽部「少年の原体験が世界を変える」
- 第17回 平成30年2月17日 参加数 9 + 1 (交流枠)  
大賞：いはらの川再生PJ会  
「いはらの川再生プロジェクト～ふるさとのニホンウナギを救え！  
庵原から日本、そして世界へ！」
- 第18回 平成31年2月2日 参加数 9 + 1 (交流枠)  
大賞：昆虫食倶楽部「とって食べる」
- 第19回 令和2年2月22日 参加数 8 + 1 (特別告知)  
大賞：静岡北高等学校 科学部水質班「水と石ころで作る未来のエネルギー」
- 第20回 令和5年2月11日 参加数 9 + 1 (特別賞)  
大賞：カチカチ鳥 「集まれ！飛びたて！カチカチ鳥にな～あれっ！」
- 第21回 令和6年2月10日 参加数 10  
大賞：仁杉・柴怒田ビオトープの会 「ビオトープを通して、地元の自然を守ろう」

# 1 川自慢大賞の基本姿勢

- ・ 県内各地でさまざまな活動をしている団体や個人を知り、お互いの活動にエールを送り、たたえあい、今後の活動の励みとする。
- ・ 今一度、静岡の川や水辺の良さを見つめなおそう！

- 第10回までは、選考委員や会場の方々による話し合いによって、多くの賛同を得た活動を「大賞」としてきました。あえて大賞を選考した目的は、大賞の選考の過程を通して各活動の内容を浮き彫りにし、広く多くの方々にその活動のすばらしさを伝えるためのものでした。しかし、実際には、主に大賞を取れなかった団体や個人には落胆の気持ちがありました。
- そのため、本来「どの活動にもエールを送り、更なる躍進を目指してもらいたい。また、この会場に集ってくれたみんなの交流の場であってほしい」という趣旨がなかなか理解されない結果になることもありました。
- 第11回（2011年2月開催）から、本来の趣旨をより理解していただくために、キャッチコピーを一新。「川のおもしろさ再発見、仲間の楽しさ大発見！！」としました。
- 前回の第15回から、第14回から用いている「イイね！」を入れたフレーズを採用。「イイね！その川 川でつながる地域の元気!! もっと×2 川で遊ぼう！」とし、活動の良さを認め合い、川（水辺）つながりで地域・みんなの元気を引き出しますことを、川自慢の取り組みの大きな目的であることを表現しました。
- 川自慢大賞の進行には、交流をはかる時間（交流タイム）を設けています。6分間の発表では伝えきれない素敵な活動に改めてスポットをあて、内容や話題を掘り下げるものです。今回は、みんなで仲間の活動の良いところをほめたたえ合い、交流をはかりたいと思います。
- 川自慢に参加してくれる方々は、お子さんから大人まで幅広い年代です。元気な子どもたちの活動には、「長沢賞」、子どもの元気に負けないぞという大人の活動には「ふるがき賞」＝昔、水で遊んでいたがき（やんちゃな子どもの愛称）だったでしょう…。初めて川自慢に参加してくれた団体（ニューフレンズ）のなかから、「新人賞」を贈ります。（贈り先は、川自慢御意見番（アドバイザー）にて決めます。）
- 「長沢賞」とは、これまでのしずおか川自慢大賞に多大な協力をいただきくとともに、子どもたちへ川とのふれあいの大切さを伝えつづけ、他界された長澤友香先生の思いを次世代に伝えるために第18回から命名した賞です。
- 「大賞」は会場にいる人全員で「応援投票」を行って決めます。全員3票持って、色の違う3つの票はそれぞれ“発表や取り組みが、最高だった！”、“新しい発見！勉強になって、素晴らしかった！”、“一緒に活動してみたい、参加してみたい、素敵な活動”のテーマで、「私はこの活動の応援団になりますよ～」という気持ちの表明として投票してもらいます。  
➤ 「会場からの応援を一番多く集めましたでしょう」＝「大賞」ということになります。
- しずおか川自慢大賞は、今回も、当日、WEBによるライブ配信を行います。

Youtube LIVE 発信名「第22回しずおか川自慢大賞」

<https://youtube.com/live/Ege59Nef4YU>



## 第22回しずおか川自慢大賞 日程（令和7年2月23日）

会場：もくせい会館 1F 富士ホール

時間	内容
12:00	開場・受付（大会議室 入口）
12:30	アイスブレイク 開会 主催者あいさつ
12:35 ～12:50	オリエンテーション（本日のスケジュール、趣旨、選考方法の説明等）
12:50 ～13:40	発表1（5団体:発表6分・質疑応答3分・片付け1分） ※発表時間厳守
13:40 ～13:50	休憩（10分間）
13:50 ～14:30	発表2（4団体:発表6分・質疑応答3分・片付け1分） ※発表時間厳守
14:30 ～14:40	休憩（10分間）
14:40 ～15:00	特別講話：袋井市 永田 進 氏（20分間） 「太田川水系の七夕豪雨災害」
15:00 ～15:45	交流タイム（45分間） アピールタイム&各団体への「ほめ合戦！」
15:45 ～15:55	「最高!」「素晴らしい!」「素敵!」 応援投票（付箋配布&投票、集計）
15:55 ～16:10	・各賞発表（全ての発表団体に「〇〇賞」）
16:10 ～16:20	しずおか川自慢大賞の決定 ・投票結果発表・表彰 ふるがき賞 長澤賞 新人賞 しずおか川自慢大賞
16:20 ～16:25	記念撮影
16:25	閉会（閉会のあいさつ（総評））

発表団体

(発表順は当日抽選にて決定します)

No	団体名	河川名	テーマ
1	瀬名新川★生き物助け隊	二級河川 瀬名新川	小さな河川の河床掘削工事後に、子どもたちとやった水辺の小さな自然再生による多自然川づくり
2	ミズベリング今流美会	二級河川 今ノ浦川	2024年8月今ノ浦川で行った 河川内魚類生息調査報告と展望
3	仁杉・柴怒田ビオトープの会	仁杉・柴怒田 ビオトープ	ビオトープを通して地元を盛り上げたい
4	静岡北高等学校 科学部魚類班 チーム ヨシノボリ	巴川水系 (麻機遊水地を含む)	静岡市内に棲む小さなハゼの新しい分類方法
5	静岡北高等学校 科学部魚類班 チーム 長尾川	巴川水系 (麻機遊水地を含む)	長尾川の渇水時における水生動物の生存戦略
6	静岡北高等学校 科学部 魚類班 チーム 外来種	巴川水系 (麻機遊水地を含む)	静岡市内における国外外来生物の生息状況
7	静岡北高等学校 科学部魚類班 チーム 地理的分布	巴川水系 (麻機遊水地を含む)	巴川流域における淡水魚類の地理的分布
8	静岡・海辺づくりの会	安倍川・浜川	地域の環境改善と海洋プラスチックごみ防止問題を知ってもらいたい
9	みずがき倶楽部	静岡の溪流、清流や海 (藁科川、大井川、伊豆半島など)	心が動く瞬間！ (その笑顔が地球を救う！)
特別講話			
1	太田川水系の七夕豪雨災害		永田 進 氏

## 最終選考方法

① 川自慢大賞は、発表の内容を踏まえ、投票により決定します。

発表者を含む来場者、キャスト（運営スタッフ）が各3票を持ち、エールを贈りたい3団体に「最高!」「素晴らしい!」「素敵!」を投票します。

- ・発表や取り組みの内容 最高だった。(きみどりの付箋)
- ・新しい発見、勉強になって、素晴らしかった。(みずいろの付箋)
- ・一緒に活動してみたい 参加してみたい、素敵な活動だった。(ピンクの付箋)

エール数を集計し、最多得票獲得団体を川自慢大賞に決定します。

② 参加したすべての団体に、特徴を表す名称をつけて表彰します。

### <川自慢大賞の視点>

応募団体（個人も含む）の活動の長所を評価し、短所は減点の対象としない。

項目	内容
保全・復元のための努力・研究	良い川を保全する努力または昔の良い川に復元するための努力
川と地域づくりの推進	地域の交流・連携、子供たちへの環境教育など川を活用した様々な精力的な活動
継続・継承による素敵な未来への展望	世代を超えて継承される継続的な活動など素敵な未来像を展望できる活動
生き生き、はつらつとした活動	子供、大人を問わず、生き生き、浚刺とした楽しい活動
ユニークな視点・斬新な発想	良い川づくり、川の活用において、ユニークな視点や斬新な着想・発想
プレゼンテーション その他	川自慢大賞の発表におけるプレゼンテーションの良いところ

## 特別賞の選考方法

① 『長澤賞』

対象：生き生き、ハツラツとした子供の活動（子供主体の団体が対象）

② 『ふるがき賞』

対象：童心を忘れない大人の活動（大人主体の団体が対象）

③ 『新人賞』

対象：今回、初参加の発表団体のこれからの活動の広がり期待するもの

# 第22回 しずおか川自慢大賞 応募申込書

(記入不要)  
エントリーNo.

ふりがな 河川名など	にきゅうかせんせなしんかわ 二級河川瀬名新川			
所在地	静岡県 静岡市葵区東瀬名町			
応募者	団体名 (個人の場合は氏名)	瀬名新川★生き物助け隊		
	連絡先	住所		
		TEL		FAX
		E-mail		
		ホームページURL	<a href="https://www.instagram.com/senashinkawa/profilecard/?igsh=MWljZ3p3MHZ0ejV6bA==">https://www.instagram.com/senashinkawa/profilecard/?igsh=MWljZ3p3MHZ0ejV6bA==</a>	
		連絡者名	中村 晃久	
		TEL		FAX
テーマ又は 事業名など	小さな河川の河床掘削工事後に、子どもたちとやった 水辺の小さな自然再生による多自然川づくり			
活動期間	令和5年9月～			
主なフィールド 該当箇所に○印	川 / 用水路 / 湖沼 / ダム / 河口・干潟 / その他 / 海外部門			
主な取り組み型 該当箇所に○印	市民主導 / 学校主導 / パートナースHIP / 行政主導 / その他 ( )			
主な活動主体 該当箇所に○印	子ども / 大人 / 行政 / 専門家 / 企業 / その他 ( )			
みんなに来てもらいた いイベント、活動	4月から11月の生き物調査 & ゴミ拾い	11月の東瀬名町趣味展		
アピールポイント	県の河床掘削工事で川の生物がいなくなってしまう可能性がありましたが、地元 の中学生、職員、施工業者の協力により、ミクリを残すことができ、石も残して もらいました。春になり、子ども達や父ちゃん母ちゃん、大学生が参加して生き 物が棲みやすいように石の並び替えや掘り起しをおこないました。年8回のモニ タリング調査では前からいたヌマチチブやカワムツだけでなく、ニホンウナギや テナガエビなど以前よりもたくさんの種類の生物が確認されました。盛り上った ので川の団体を作り、県とリバーフレンドシップも結びました。			
活動紹介キーワード (5点まで)	多自然川づくり、水辺の小さな自然再生、子ども達、大学生、新・梶原景 時伝説 (タンスイベニマダラ発見)			
活動場所の見取図				
発表者人数等	<ul style="list-style-type: none"> <li>発表者人数 (大人5名・子供5名) 予定</li> <li>交通手段 (車)</li> </ul>			



# ぼくらの川★生き物助け隊～瀬名新川水辺の小さな自然再生～

**川の生き物を工事から救おう！+みんなで川に生き物の棲み家を作っちゃおう！**

東瀬名町12組の小学生、中高生、若いババママ 東海大水棲環境研究会、常葉大自然体験活動クラブ「ピカデム」、静岡県静岡土木事務所若手職員、静岡市環境大学有志、長尾川ジャコウガクラブなど

◆県静岡土木事務所：まっ平⇒ミクリや玉石を残して施工⇒「ちょっとだけ多自然川づくり」

◆地域の子ども達、大学生：生物が棲みやすいように玉石を移動⇒「水辺の小さな自然再生」



R6.4.14第1回事後調査  
みんな笑顔でポーズ！



◆生き物調査も実施→こんなに生き物いるんだ！→すごい！（地域の川に愛着）



R5.10～R6.10に全9回のべ100人以上が参加して、20種類以上の生き物が取れました。アメリカザリガニなど外来種が減り、テナガエビなど外来種が増えました。今後流域の皆さんと続きます！

ふりがな	せなしんかわ	ポイントとなるキーワード(5点以内)
河川名	二級河川瀬名新川	水辺の小さな自然再生、ちょっとだけ多自然川づくり
所在地	静岡県静岡市葵区	近所の親子、高校生・大学生、タンスイベニマダラ
応募者名	中村 晃久	エントリーNo.
所属	瀬名新川★生き物育て隊	



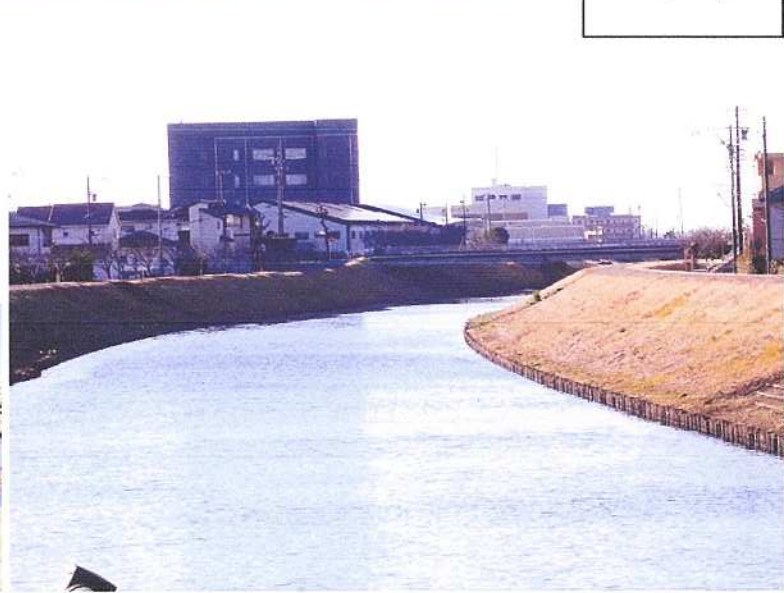


2024年8月5日調査日の今ノ浦川

今ノ浦川には何が棲んでいるのだろう？




ミズベリング今流美会



ふりがな 河川名	(二級河川太田川水系) にきゅうかせん いまのうらかわ 二級河川 今ノ浦川	ポイントとなるキーワード (5点以内)
		(川への愛着) (環境美化) (環境学習)
所在地	静岡県 磐田市	(河川空間利用) (民官学の連携)
応募者名 所属	ミズベリング今流美会	(記入不要) エントリーNo.

## 第22回 しずおか川自慢大賞 応募申込書

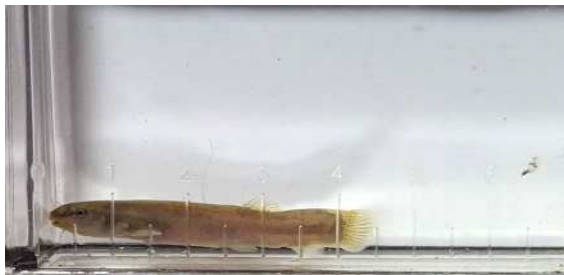
(記入不要)  
エントリーNo.

ふりがな 河川名など	仁杉・柴怒田ビオトープ ( 抜川水系)				
所在地	静岡県 御殿場市・町・村				
応募者	団体名 (個人の場合は氏名)		仁杉・柴怒田ビオトープの会		
	連絡先	住所	〒412-0003 静岡県御殿場市柴怒田375		
		TEL	0550-89-0388	FAX	
		E-mail	<a href="mailto:haruto.fgo.fate.0113@gmail.com">haruto.fgo.fate.0113@gmail.com</a>		
		ホームページURL			
		連絡者名	勝又 悠翔		
		TEL	080-9735-9190	FAX	
テーマ又は 事業名など	ビオトープを通して、地元を盛り上げたい！				
活動期間	2022年～ 主に4月から10月				
主なフィールド 該当箇所に○印	川 / 用水路 / 湖沼 / ダム / 河口・干潟 / ○その他 / 海外部門				
主な取り組み型 該当箇所に○印	○市民主導 / 学校主導 / パートナースhip / 行政主導 / その他 ( )				
主な活動主体 該当箇所に○印	子ども / ○大人 / 行政 / 専門家 / 企業 / その他 ( )				
みんなに来てもらいた いイベント、活動	開催日	未定	イベント名、概要 エコアップ大作戦 ホテルの鑑賞会		
アピールポイント	このビオトープは、ザリガニなどの外来種がいなく、御殿場の中でも特に生態系が豊かになっています。このビオトープを通じて自然の美しさや素晴らしさ、地元の課題をいろいろな世代の人にしてもらいたいです。				
“活動紹介”キーワー ド(5点まで)	( ビオトープ ) (地域と協力して) (ホトケドジョウ) (地域開発と環境保全の両立) ( )				
活動場所の見取図					
発表者人数等	・発表者人数(大人1名・子供 名) ・交通手段(車 )				

## ビオトープを通して、地元の自然を守ろう！



ビオトープとは生物が生息できる空間のことで「生物の生息空間」と訳される。



**ビオトープのアイドル！**  
絶滅危惧種のアホダコ  
可愛い顔と丸っこい体がチャームポイント



暖かくなると雑草や浮草の成長が早くなり、すぐにビオトープが埋め尽くされてしまう

**そうなる前に**

清掃をしてビオトープを守ることが大事！

また、近くに新御殿場インターチェンジが通っているため最近ではポイ捨てが多くなってきている

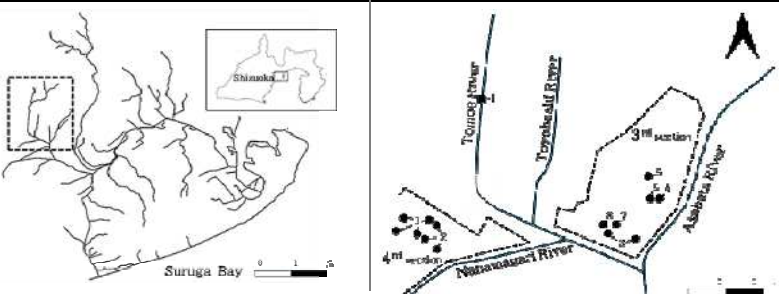
**だから**

継続的にごみ拾いをするのが大切！

ふりがな 河川名	( 抜川 水系) 仁杉・柴怒田ビオトープ	ポイントとなるキーワード (5点以内)
		ビオトープ
所在地	静岡県 御殿場市町村 静岡県御殿場市柴怒田 375	地域とともに ホトケドジョウ
応募者名 所属	勝又 悠翔 仁杉・柴怒田ビオトープの会	エントリーNo.

## 第22回 しずおか川自慢大賞 応募申込書

(記入不要)  
エントリーNo.

ふりがな 河川名など	ともえがわ あきはたゆうすいち ふく 巴川(麻機遊水地を含む) ( 巴川水系)				
所在地	静岡県 静岡市				
応募者	団体名 (個人の場合は氏名)	静岡北高等学校 魚類班 (山村悌公)			
	連絡先	住所	〒420-0911 静岡県静岡市葵区瀬名5丁目14-1		
		TEL	054-261-5801	FAX	054-262-5573
		E-mail	<a href="mailto:tsukagoshi.shiori@sist.ac.jp">tsukagoshi.shiori@sist.ac.jp</a>		
		ホームページURL	<a href="https://shizukita.jp/senior/">https://shizukita.jp/senior/</a>		
		連絡者名	塚越汐里		
		TEL	同上	同上	
テーマ又は 事業名など	麻機地区に生息するトウヨシノボリ(池沼型)の分類				
活動期間	2024年				
主なフィールド 該当箇所に○印	川 / 用水路 / 湖沼 / ダム / 河口・干潟 / その他 / 海外部門				
主な取り組み型 該当箇所に○印	市民主導 / 学校主導 / パートナースHIP / 行政主導 / その他 ( )				
主な活動主体 該当箇所に○印	子ども / 大人 / 行政 / 専門家 / 企業 / その他 ( )				
みんなに来てもらいた いイベント、活動	開催日	イベント名、概要			
	・日本の河川や湖沼に広く分布するヨシノボリ属はハゼ科に属する1グループである。現在日本では、約14種が発見されており、巴川水系でも5種のヨシノボリ属の生息が報告されている。トウヨシノボリはヨシノボリ属に含まれる1種であると考えている。現在、トウヨシノボリ種内の分類は複雑化しており、未記載種でかつトウヨシノボリに形質的特徴が類似している縞鱗型、橙色型、偽橙色型等の個体群が多数存在する。その為、シマヒレヨシノボリ、クロダハゼ等、トウヨシノボリの集団から新種記載され独立種となった例も複数存在する。 ・巴川水系ではカワヨシノボリ、オオヨシノボリ、シマヨシノボリ、トウヨシノボリ(池沼型)、ゴクラクハゼ計5種類のヨシノボリ属の生息が報告されている。本調査の対象であるトウヨシノボリ(池沼型)という名称は現在、静岡県でのみ呼称されている。体長5cm程度の陸封性純淡水魚であり、シマヨシノボリと類似した特徴を持つ。本種が主に確認される巴川水系は閉鎖的環境であることから、地理的隔離により遺伝的変異が起こっている可能性が高いと考察した。 ・そこで本研究では、トウヨシノボリ(池沼型)の詳しい生態情報、分類に用いる事が可能な形質的特徴を明らかにすることを目的とし、調査を行った。				
活動紹介キーワード (5点まで)	巴川水系、麻機地区、ヨシノボリ属、トウヨシノボリ(池沼型)、頭部感覚管				
活動場所の見取図					
発表者人数等	・発表者人数(大人 名・子供 1名) ・交通手段(自転車)				

# 静岡市内に棲む小さなハゼの新しい分類方法

## 1 研究の動機・目的

日本の河川に広く分布するヨシノボリ属(*Rhinogobius*)はハゼ科(*Gobiidae*)に属する1グループである。現在日本では、約14種が発見されている。その内、巴川水系では5種類のヨシノボリ属の生息が報告されている。しかし、**本水系で確認されるヨシノボリ属の1種は明確な同定を行われていない**。

そこで本研究では、詳しい生態情報を明らかにすること及び、上記の種を分類することを最終目標とし、調査を行った。

調査対象 → トウヨシノボリ(池沼型) *Rhinogobius* sp. OR.f.P

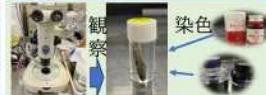
## 2 研究方法

Fig 1. 研究方法①: 現地採集調査



▶採集地点に行きヨシノボリを捕獲した。その後個体数の記録を行った。

Fig 2. 方法②: ヨシノボリの形態



▶採取されたサンプルで液浸標本を製作後、顕微鏡で形態を観察した。

## 3 調査地点

Fig 3. 巴川水系と麻機地区の位置

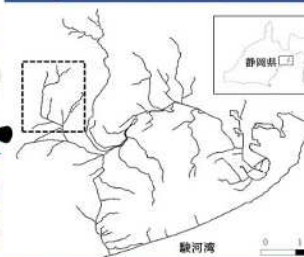


Fig 4. 麻機地区における調査地点



▶本調査では麻機地区に存在する、巴川、麻機遊水地第3工区、麻機遊水地第4工区の3ヶ所で生態調査を行った。  
 ・巴川… 1地点 ・麻機遊水地 第3工区… 7地点 ・麻機遊水地 第4工区… 7地点  
 Fig 4. ●…止水域 14地点 ■…流水域 1地点

## 研究結果

Fig 5. 研究①: 巴川水系におけるヨシノボリ属の地理的分布



「ヨシノボリが確認できた地点」  
 麻機遊水地 第3工区: 5/7, 37匹  
 麻機遊水地 第4工区: 1/7, 2匹  
 巴川 本流: 1/1, 7匹  
 合計: 7/15, 46匹

Fig 6. 同定済みヨシノボリの写真



「飼育下: トウヨシノボリ(池沼型)の生態」  
 ▶他のヨシノボリと比較し、隠れ家に留まる時間が短く、大半を棲み家から出て生活している。  
 ▶他の個体がテリトリーに侵入しても追いつかない。  
 ▶警戒心及び、縄張り意識が低い。

Fig 7. 研究②: トウヨシノボリ(池沼型)の形態

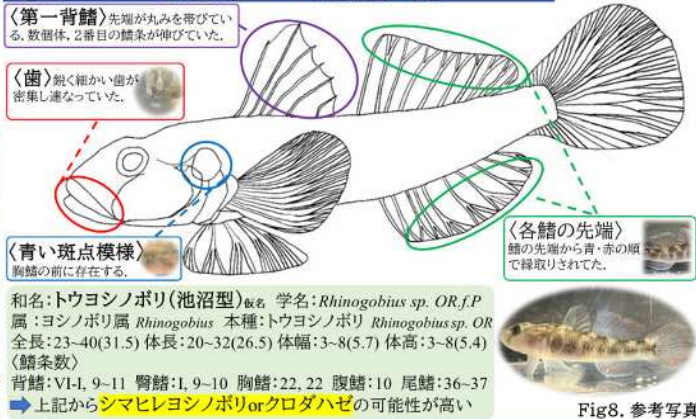


Fig 9. トウヨシノボリ(池沼型)の分類

ヨシノボリ属の分類の現状  
 ▶現在ヨシノボリ属に分類される種は約14種類が存在する。  
 ▶本研究対象のトウヨシノボリはヨシノボリ属の内、未同定の種のゴミ箱状態となっており、「池沼型」を含む多数の亜種が存在する。  
 そのため、種数も多く、分類が困難なため種内の整理整頓がほとんど行われていなかった。

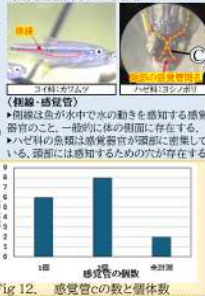
しかし、近年少しずつ分類が進んできており、トウヨシノボリの亜種から新種が続々と発表されている。

### トウヨシノボリ池沼型の分類

▶先行研究での分類は、鰭条数、鰭の形状等を基準にして行われてきた。また、トウヨシノボリから新種として発見されたクロダハゼでは感覚器官の数で同定を行っていた。

そこで、鰭条数、鰭の形状、感覚器官の数を観察した。  
 ▶鰭条数、鰭の形状から、シマヒレヨシノボリ・クロダハゼ2種のどちらかである可能性が出てきた。  
 ▶しかし、感覚器官Cにおいて数異なる個体が3:4の割合で確認された。どちらも無い可能性が浮上。  
 ▶頭部感覚器官C…眉間に存在する孔

### 感覚器官の比較



## 5 研究の考察・展望

以上の研究結果より、トウヨシノボリ(池沼型)は、シマヒレヨシノボリ・クロダハゼ・新種の3つの内のどれかに属する可能性が極めて高いことが考察された。

そこで、文献調査を行ったところ、シマヒレヨシノボリ・クロダハゼの生息域に静岡は含まれていないことが明らかとなった。これにより、以下の2つの可能性が高いと考察した。

- ①シマヒレヨシノボリ or クロダハゼであり国内外来生物の可能性。
- ②地理的隔離により遺伝子に突然変異が起き、独立種である可能性。

種分化が起こるのに必要な年数は、ショウジョウバエでも50年かかり、Fig 13. 麻機遊水地第3工区これよりも繁殖周期が長いヨシノボリ属はより長期の年月が必要と考察した。  
 ▶巴川水系が隔離されたのは1606年頃であり、進化の経過途中である可能性も考察された。  
 「補足」現在、巴川水系は閉鎖的環境であり、過去に放流を行った記録は存在しないため、国内外来種である可能性は低いと考察される。

トウヨシノボリ(池沼型)に関する文献は近年投稿されており、その論文にはトウヨシノボリ(池沼型)はシマヒレヨシノボリの可能性が高いと記載されている。しかし、未だ明白な分類がされていない。このことから、引き続き研究を行い、特徴を観察しながら明確な分類を行っていきたい。また、固有種の可能性も出てきたため、種の保存として保護活動も行っていきたい。

ふりがな	(巴川水系)	ポイントとなるキーワード (5点以内)
河川名	ともえがわ あきはたゆうすいち 巴川・麻機遊水地	巴川水系, 麻機地区, ヨシノボリ属, トウヨシノボリ(池沼型), 頭部感覚管
所在地	静岡県静岡市町村葵区瀬名 5 丁目 1 4 - 1	
応募者名	山村悌公	エントリーNo.
所属	静岡北高等学校 ヨシノボリ班	

# 第22回 しずおか川自慢大賞 応募申込書

(記入不要)  
エントリーNo.

ふりがな 河川名など	ながおがわ 長尾川 ( 巴川水系)				
所在地	静岡県 静岡市 市・町・村				
応募者	団体名 (個人の場合は氏名)	静岡北高等学校 魚類班 (山村悌公・増木蔵大・仲澤岳陽)			
	連絡先	住所	〒420-0911 静岡県静岡市葵区瀬名5丁目14-1		
		TEL	054-261-5801	FAX	054-262-5573
		E-mail	tsukagoshi.shiori@sist.ac.jp.		
		ホームページURL	<a href="https://shizukita.jp/senior/">https://shizukita.jp/senior/</a>		
		連絡者名	塚越汐里		
		TEL	同上	FAX	同上
テーマ又は 事業名など	長尾川の濁水時における水生動物の生存戦略				
活動期間	2024年				
主なフィールド 該当箇所に○印	川 / 用水路 / 湖沼 / ダム / 河口・干潟 / その他 / 海外部門				
主な取り組み型 該当箇所に○印	市民主導 / 学校主導 / パートナースHIP / 行政主導 / その他 ( )				
主な活動主体 該当箇所に○印	子ども / 大人 / 行政 / 専門家 / 企業 / その他 ( )				
みんなに来てもらいた いイベント、活動	開催日		イベント名、概要		
	<p>・静岡市内を流れる長尾川は、2級河川である巴川水系に含まれる支流の一つである。長尾川中流域、下流域では、約10日間雨が降らなければ水深0 mを下回る濁水状態となる。川床から地下に浸透した水は伏流水となり、周辺の池に湧き出るなど瀬名鳥坂自噴帯を形成している。瀬名地区を中心に流水する長尾川は1年の大半が濁水状態であり、地域の人からは瀬無川と呼称されていた。</p> <p>・事前調査により雨後の流水時カワムツ、オイカワ等の遊泳生物からナマズ、シマドジョウ属等の底生生物まで多種多様な在来種の生息が確認されている。しかし、上記の在来種は濁水時において生息が確認できなかった。また濁水時、川床を掘ると伏流水が流れており、伏流水中に退避したナマズの幼魚が確認された。このことから、上記の生物は濁水時でも何らかの方法で生存していると考察した。別調査で外来種の生息が確認されなかった長尾川では、在来種のみで生態系を築いている。これらの条件が揃った河川は現在では希少な環境であり、生物地理学上興味深い地域である。そこで本研究では、定期的に濁水状態となる長尾川を選定し、現地採集調査および文献調査により濁水状態である河川に生息する水生動物相を明らかにした。さらに、長尾川の再現水槽を作成し、濁水時どのように生き残っているのか観察を行った。</p>				
“活動紹介”キーワ ード(5点まで)	(巴川水系) (長尾川) (濁水状態) (生存戦略) (在来種)				
活動場所の見取図					
発表者人数等	<ul style="list-style-type: none"> <li>発表者人数 (大人 名・子供 3名)</li> <li>交通手段 (自転車, 送迎)</li> </ul>				



# 長尾川の渇水時における在来種の生存戦略

Survival strategies of native species during drought in the Nagao River

静岡北高等学校

Shizuoka Kita High School

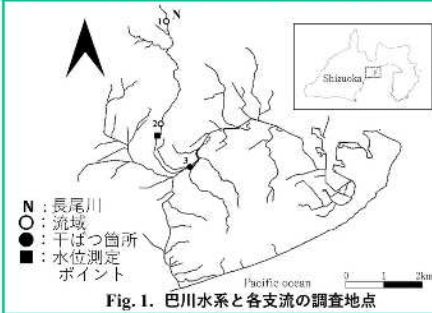
2年生：山村悌公・植木悠太・五味優真

1年生：増木蔵大・仲澤岳陽・小澤慧大・瀧本虎徹・吉田要・渡辺紘歩

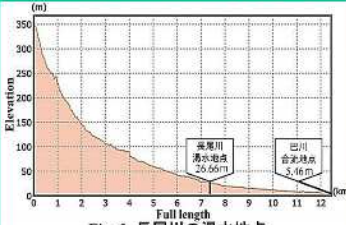
## 1. 研究の動機・目的 RESEARCH MOTIVATION / PURPOSE

・静岡市内を流れる長尾川は、2級河川である巴川水系に含まれる支流の一つである。長尾川中流域、下流域では、約10日間雨が降らなければ水深0Mを下回る渇水状態となる。雨後の流水時、長尾川には多種多様な在来種の生息するが、渇水時には生息が確認できなかった。このことから、渇水時でも何らかの方法で生存していることが考察される。そこで本研究では、長尾川の渇水時における水生動物の生存方法を調査した。  
・渇水時は水生動物がどのように生き残っているのかを明らかにする。

## 2. 研究の方法 RESEARCH METHOD



## 3. 研究の結果 RESEARCH RESULT

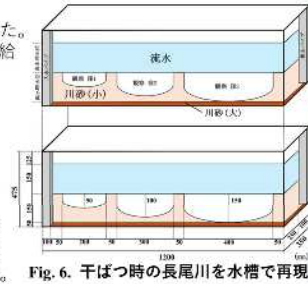


採取できた生物  
オйкаワ：23匹、カワムツ：50匹、タカハヤ：25匹、ナマス：7匹  
シマドジョウ：4匹、ヨシノボリ：6匹、ヌマエビ：2匹  
テナガエビ：1匹、サワガニ：30匹、モズガニ：9匹  
カジカガエル：10匹、ニホンヒキガエル：1匹



## 4. 研究の考察・展望 RESEARCH CONSIDERATION / PROSPECTS

〈考察〉  
今回の現地採集調査により、長尾川渇水時の生物の生存戦略を以下の3つ考察した。  
1. 渇水地点より上流、下流に避難する・・・遊泳力が高い生物は、渇水時に上流および下流に避難していること。  
2. 窪みに避難する  
取り残された魚類たちは定期的に水面に口を出し、酸素を吸っている様子が見受けられた。  
→長尾川における遊水地の魚類止水域でなくても生息が可能または伏流水からの酸素は供給されていること。(Fig. 5.)  
3. 伏流水中に避難する  
本調査では、地点N3において伏流水中のナマスが避難していることが確認できた。  
→遊泳力の低い低生成物の大半は伏流水中に避難している可能性がある。  
同様に流水時、地点N3で生息が確認されたシマドジョウ属も腸呼吸が可能なることから、上記の可能性は高いと考察する。  
〈展望〉  
以上の通り、長尾川の渇水状態における在来種の生存戦略は、いずれも全て考察の段階であり、確証的な証拠の観察ができなかった。今後は長尾川の渇水状態再現水槽の完成を急ぎ、長尾川に生息する生物が渇水時、どのような方法で生存しているのか調査を進めたい。



## 5. 参考文献・引用文献 REFERENCES / WORKS CITED

- ・板井隆彦ほか(静岡県静岡土木事務所)(2007)『麻機遊水地の自然 シーズン4 巴川の魚類』
- ・国土交通省『川の防災情報 巴川水系長尾川水梨橋』
- ・細谷和海(2005)『山溪ハンディ図鑑15 日本の淡水魚』山と溪谷社。
- ・八田耕吉、内田圭一(1989)『東海地方の水生昆虫相(第2報):東海地方のカワゲラ類』
- ・吉田徳巨(2005)『水族館のいきものたち2ピオトップをつくらう!』エムビージャー。など

ふりがな	(巴川水系)	ポイントとなるキーワード (5点以内)
河川名	ながおがわ 長尾川	巴川水系, 長尾川, 渇水状態, 生存戦略, 在来種
所在地	静岡県静岡市町村葵区瀬名 5 丁目 14-1	
応募者名	山村悌公・増木蔵大・仲澤岳陽	エントリーNo.
所属	静岡北高等学校 魚類班	

# 第22回 しずおか川自慢大賞 応募申込書

(記入不要)  
エントリーNo.

ふりがな 河川名など	ともしがわ 巴川 ( 巴川水系)				
所在地	静岡県		静岡市		
応募者	団体名 (個人の場合は氏名)		静岡北高等学校 魚類班 (山村悌公・吉田要・瀧本虎徹)		
	連絡先	住所	〒420-0911 静岡県静岡市葵区瀬名5丁目14-1		
		TEL	054-261-5801	FAX	054-262-5573
		E-mail	<a href="mailto:tsukagoshi.shiori@sist.ac.jp">tsukagoshi.shiori@sist.ac.jp</a>		
		ホームページURL	<a href="https://shizukita.jp/senior/">https://shizukita.jp/senior/</a>		
		連絡者名	塚越汐里		
		TEL	同上	FAX	同上
テーマ又は 事業名など	静岡市内における国外外来生物の生息状況				
活動期間	2023年~2024年				
主なフィールド 該当箇所に○印	川 / 用水路 / 湖沼 / ダム / 河口・干潟 / その他 / 海外部門				
主な取り組み型 該当箇所に○印	市民主導 / 学校主導 / パートナースhip / 行政主導 / その他 ( )				
主な活動主体 該当箇所に○印	子ども / 大人 / 行政 / 専門家 / 企業 / その他 ( )				
みんなに来てもらいたいイベント、活動	開催日	イベント名、概要			
アピールポイント	<p>静岡市内を流れる巴川は、文殊岳の標高1041mを起点として大きく蛇行しながら流れる2級河川である。巴川を本流とし、長尾川、塩田川、草薙川等の支流と5工区に分割された麻機遊水地、大内遊水地を含んでいる。また、山間部に多くの自然が残存している。そして上流域から下流まで、その多くが市街地に面している。</p> <p>麻機地区では、現在絶滅危惧種に指定されるホトケドジョウ、カワバタモロコ等の希少な在来種の生息が多く報告されている。また、流水域や止水域等幅広い環境が存在するため、遊泳生物から底生生物まで多種多様な在来種が生息している。しかし、上記の在来種は年々減少傾向にあり、要因として国外外来種の侵略および生息域拡大が考察される。</p> <p>これまで麻機地区において人に危害を及ぼすカミツキガメをはじめ、農作物に危害を及ぼすスクミリンゴカイ、アメリカザリガニ、在来種に危害を及ぼすブルーギル等の特定外来生物および国外外来種の生息が多数報告されており、静岡市では外来種問題が深刻な問題となっている。市内を流れる巴川は、市街地に接するため、外来種が放されやすいと考察される。国外外来種の侵略状況明らかにし、対策を講じることは、保全生物学的に有益であると考えられる。そこで本研究では、静岡市内を流れる巴川水系のうち4本の支流を選定し、現地採集調査および文献調査により国外外来種の生息状況を調査を行った。</p>				
“活動紹介”キーワード (5点まで)	(巴川水系) (在来生物) (国外外来種) (侵略状況) ( )				
活動場所の見取図					
発表者人数等	<ul style="list-style-type: none"> <li>発表者人数 (大人 名・子供 4名)</li> <li>交通手段 (自転車, 送迎)</li> </ul>				

1. 研究の動機・目的 Research Motivation・Purpose

静岡市内を流れる巴川は、文殊岳を起点として大きく蛇行しながら流れる2級河川である。麻機地区では、在来種は年々減少傾向にあり、要因として国外外来種の侵略および生息域拡大が考察される。静岡市では外来種問題が深刻な問題となっている。そこで本研究では、巴川水系に侵略してきた国外外来生物の生息状況、生息環境等を明らかにすることを目的とし、静岡市内を流れる巴川水系で調査を行った。

2. 研究の方法 Research Method

Fig. 1 〈巴川全体地図〉

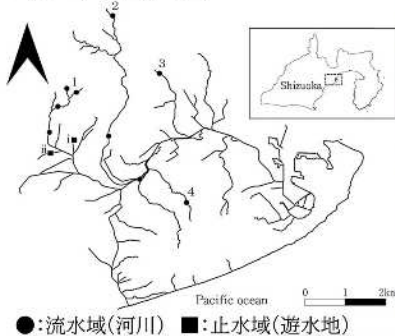


Fig. 2 〈採集地点〉 \*地点番号は支流の頭文字に上流から順に番号を付けた。



3. 研究の結果 Research Result

Fig. 3 〈採集生物写真〉



Fig. 4 〈各地点における在来種と外来種の比率〉

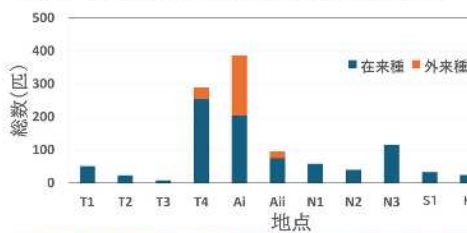
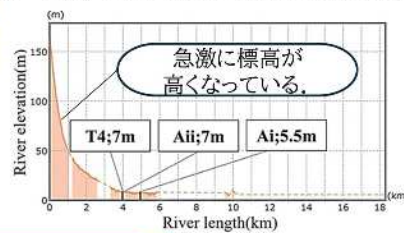


Fig. 5 〈河川の止水地点〉



Fig. 6 〈巴川の標高と外来種の分布地点〉



4. 研究の考察・展望 Research Consideration・Prospects

- ・巴川水系における外来種が侵略する条件
  1. 市街地に多く面していること。
  2. 隠れ家が多く、止水状態または、流速が遅い地点であること。
  3. 標高7m以下の河川勾配が緩やかな地点であること。
 上記が全て当てはまる地点では外来種が高確率で生息をしていると考えた。
- ・巴川水系に侵略する外来種への対策
  1. 止水域を無くす。…本調査では、止水域に外来種が多く確認されたため。
  2. 外来種保護施設を設立する。…外来種の一部は原産地で希少種となるため。
  3. 麻機の伝統漁法の利用。…麻機の伝統漁法「柴揚げ漁」は外来種の習性を活用できる漁法であると考察したため。

Fig. 7 〈外来種の生息地の共通点〉



5. 参考文献・引用文献 References・Works Cited

- ・細谷和海(2005)『山溪ハンディ図鑑15 日本の淡水魚』山と溪谷社。
- ・村上興正、鷲谷いづみ (2002)『外来種ハンドブック 日本生態学会編』地人書館。
- ・坂井隆彦ほか(静岡県静岡土木事務所) (2007)『麻機遊水地の自然 シーズン4 巴川の魚類』
- ・加藤英明、村瀬良太 (2018)『静岡市麻機地域におけるホトケドジョウの生息状況と遺伝的地域特性およびその教育教材としての利用』等

ふりがな	(巴川水系)	ポイントとなるキーワード (5点以内)
河川名	ともえがわ あさはたゆうすいちち ながおがわ 巴川, 麻機遊水地, 長尾川等	巴川水系, 在来生物, 国外外来種, 侵略状
所在地	静岡県静岡市町村葵区瀬名 5 丁目 14-1	
応募者名	山村悌公・五味優真・吉田要・瀧本虎	エントリーNo.
所属	徹: 静岡北高等学校 魚類班	

# 第22回 しずおか川自慢大賞 応募申込書

(記入不要)  
エントリーNo.

ふりがな 河川名など	ともえがわ 巴川 ( 巴川水系)				
所在地	静岡県 静岡市 市				
応募者	団体名 (個人の場合は氏名)		静岡北高等学校 魚類班 (山村悌公・植木悠太・小澤慧大)		
	連絡先	住所	〒420-0911 静岡県静岡市葵区瀬名5丁目14-1		
		TEL	054-261-5801	FAX	054-262-5573
		E-mail	tsukagoshi.shiori@sist.ac.jp.		
		ホームページURL	<a href="https://shizukita.jp/senior/">https://shizukita.jp/senior/</a>		
		連絡者名	塚越汐里		
		TEL	同上	同上	
テーマ又は 事業名など	巴川流域における淡水魚類の地理的分布				
活動期間	2023年~2024年				
主なフィールド 該当箇所に○印	川 / 用水路 / 湖沼 / ダム / 河口・干潟 / その他 / 海外部門				
主な取り組み型 該当箇所に○印	市民主導 / 学校主導 / パートナースHIP / 行政主導 / その他 ( )				
主な活動主体 該当箇所に○印	子ども / 大人 / 行政 / 専門家 / 企業 / その他 ( )				
みんなに来てもらいた いイベント、活動	開催日		イベント名、概要		
	<p>静岡市内を流れる巴川は、市内の文殊岳の標高1041m起点として大きく蛇行しながら流れる2級河川である。巴川を本流とし、長尾川、塩田川、草薙川等の支流と5工区に分割された麻機遊水地、大内遊水地を含んでいる。また、山間部に多くの自然が残存している。そして上流域から下流まで、その多くが市街地に面している。</p> <p>麻機地区では、現在絶滅危惧種に指定されるホトケドジョウ、カワバタモロコ等の希少な在来種の生息が多く報告されている。また、流水域や止水域等幅広い環境が存在するため、遊泳生物から底生生物まで多種多様な在来種が生息しており、生物地理学上興味深い地域である。</p> <p>これまで巴川水系の淡水魚類相についていくつか報告されているものの、過去の記録しか残存しておらず、ここ数年の巴川水系における淡水魚類の分布の詳細については未だ不明である。上記で報告された在来種も河川工事や水質汚染等の影響で生息地を失い現在では確認できない種が増加してきている。また、現在麻機地区においてカミツキガメをはじめとする外来種の目撃情報が多発している。このことから、多種多様な外来種の生息域拡大により従来の日本の生態系が大幅に崩れている可能性が考察しやすい。絶滅危惧種も多数報告されている巴川水系で、現在の外来種情報を含めた淡水魚類相を記録し、それらが多種多様な河川環境との関連のなかで生態系がどのように変化しているのか明らかにすることは、保全生物学的に有益と考えられる。</p> <p>そこで本研究では、静岡市内を流れる巴川水系のうち4本の支流を選定し、現地採集調査および文献調査により外来種情報、環境状態を含めた淡水魚類相の生息状況を明らかにしたので、ここに報告する。</p>				
活動紹介キーワード (5点まで)	(巴川水系) (淡水魚類相) (生態系) (在来種) (外来種)				
活動場所の見取図					
発表者人数等	<ul style="list-style-type: none"> <li>発表者人数 (大人 名・子供 4名)</li> <li>交通手段 (自転車, 送迎)</li> </ul>				

# 巴川流域における水生動物の地理的分布

## Geographical distribution of aquatic animals in the Tomoe River system

静岡北高等学校 魚類班  
 2年生:山村悌公・植木悠太・五味優真  
 1年生:増木蔵大・仲澤岳陽・小澤慧大  
 瀧本虎哉・吉田要・渡辺紘歩

### 研究の動機・目的 Research Motivation · Objective

静岡市内を流れる巴川は、市内の文殊岳の標高1041m起点として大きく蛇行しながら流れる2級河川である。麻機地区では、現在絶滅危惧種に指定される希少な在来種の生息が多く報告されている。そこで静岡市内を流れる巴川水系で河川状況、標高等の地理的情報を含めた水生動物の生息状況を明らかにした。本調査では、巴川水系において詳細な水生動物相を明らかにし、自然環境保護に役立てることを目的とし調査を行った。

### 調査方法・調査地点 Method of Investigation

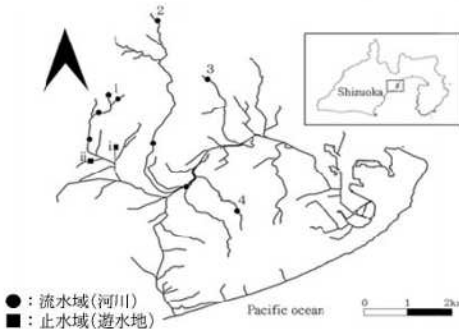


Fig. 1 〈巴川全体地図〉

\*地点番号は支流の頭文字に上流から準備番号を付けた。



Fig. 2 〈採集地点〉

### 研究の結果 Research Results

#### 〈確認された水生動物〉

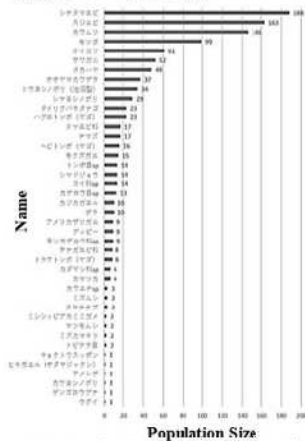


Fig. 3 〈採取した生物リスト〉

#### 〈標高と生物相の関係〉

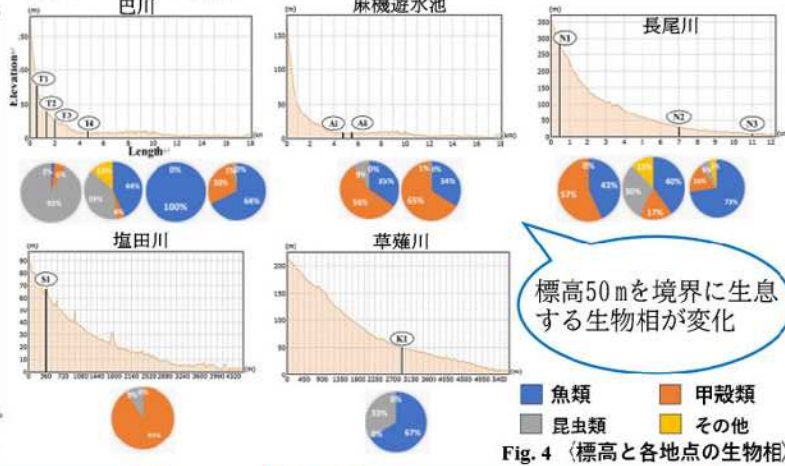


Fig. 4 〈標高と各地点の生物相〉

### 研究の考察 Research Considerations

#### 〈生物の個体数と生息地点の特徴の関係性〉

1. 標高が高いほど生息する生物の個体数が減少していた。
2. 流水域がある河川より、止水域である麻機遊水池のほうが確認できた生物相が多かった。
3. 河川でも早瀬よりも瀬や平瀬のほうが種類数、個体数ともに多かった。

本調査では河川の水流の強弱で生息する在来種の個体数が大きく異なることが考察された。

### 研究の展望 Research Prospects

考察より、水流を数値化し河川の水流が魚の生息状況に関連していることが懸念された。今後は標高と合わせ、水流の強弱も要因とし重視して調査をしていきたい。

### 参考文献 References

1. 松橋利光 (2016) 『ふつうじゃない生きものの飼いかた』大和文房。
2. 板井隆彦 (2007) 『麻機遊水池も自然 シーズン4 巴川の魚類』静岡県静岡土木事務所。
3. 細谷和寿 (2005) 『山溪ハンディ図鑑15 日本の淡水魚』山と溪谷社。
4. 宮崎佑介 (2018) 『はじめての魚類学』オーム社。
5. 吉田徳巨 (2005) 『水族館のいきものたち2 ヒオトープをつくらう!』エムビーエー。
6. 山川史郎 (2010) 『小学館の図鑑 NEO POCKET 魚』小学館。
7. 静岡市麻機地域における外来種ミンシツピアカミミガメの分布と生息状況加藤英明, 小田切佑樹, 服部智美, 本多安希雄
8. 東海地方の水生昆虫相 (第2巻): 東海地方のカワゲラ類八田耕吉, 内田臣一 など

ふりがな	(巴川水系)	ポイントとなるキーワード (5点以内)
河川名	ともえがわ あきはたゆうすいち ながおがわ 巴川, 麻機遊水池, 長尾川等	巴川水系, 淡水魚類相, 生態系, 在来種, 外来種
所在地	静岡県静岡市町村葵区瀬名 5 丁目 1 4 - 1	
応募者名	山村悌公・植木悠太・小澤慧大	エントリーNo.
所属	静岡北高等学校魚類班	

# 第22回 しずおか川自慢大賞 応募申込書

(記入不要)  
エントリーNo.

ふりがな 河川名など	安倍川・浜川				
所在地	静岡県				
応募者	団体名 (個人の場合は氏名)	静岡・海辺づくりの会			
	連絡先	住所	〒420-0011 静岡市葵区安西5-75-1ブランステージ葵703		
		TEL	090-8540-6190	FAX	054-260-5487
		E-mail	ooishi.yoshihiro@rose.plala.or.jp		
		ホームページURL	<a href="https://sites.google.com/view/umibeumibe/">https://sites.google.com/view/umibeumibe/</a>		
		連絡者名	大石善博		
		TEL	090-8540-6190	FAX	054-260-5487
テーマ又は 事業名など	地域の環境改善と海洋プラスチックごみ防止問題を知ってほしい				
活動期間	2007年8月～				
主なフィールド 該当箇所に○印	川 / 用水路 / 湖沼 / ダム / 河口・干潟 / その他 / 海外部門				
主な取り組み型 該当箇所に○印	市民主導 / 学校主導 / パートナースhip / 行政主導 / その他 ( )				
主な活動主体 該当箇所に○印	子ども / 大人 / 行政 / 専門家 / 企業 / その他 ( )				
みんなに来てもらいた いイベント、活動	開催日 年間3回8時30分集合		イベント名、概要 ①大浜海岸クリーン活動 ②ハマユギ		
	SDGsに取り組み、海洋プラスチックごみ防止県民6R運動を広め、海岸清掃を年間で定期的実施している団体とコラボレーションしています。実施団体には、ごみの分別と測量やCo2削減効果などの測定もしており、清掃活動結果をまとめ、地域の環境を学び、環境改善する為に何をしなければいけないかを考え、少しでもこの住んでいる地域に社会貢献ができればと思い活動しています団体です。 【協力団体】(カチカチ鳥・WEC・杣プロジェクト・海とTomoプロジェクト・marine heart) 【応援団体】(TJAR)				
“活動紹介”キーワ ード(5点まで)	(海洋プラスチックごみ防止問題) (地域の環境を知る) (RefillJapan) (環境改善) (住みよい街づくり)				
活動場所の見取図					
発表者人数等	<ul style="list-style-type: none"> <li>発表者人数 (大人 1名・子供 0名)</li> <li>交通手段 (車)</li> </ul>				



# 大浜海岸の進化

**大浜ビーチフェスタ浜ゆき開催**

**大浜海岸清掃活動**

**防災掲示板『大浜海岸堤防の7ヶ所に掲示』**

大浜海岸に有ります掲示板7看板に、大浜海岸で生息しています生きものや植物の写真展示をはじめ、この地域海岸で清掃活動をしている団体の紹介や、海岸清掃の活動報告も掲示させて頂いています。

**花壇整備「ポケットパーク」**

大浜海岸線を走る150線から眺められる浜川近くのポケットパークに、私たち自慢の花壇を作りました。毎週会員で手入れさせて頂き、近隣の皆様はじめ幹線道路からのお花が楽しめるスポットともなっております。是非見てください。






# 未来の大浜海岸

ふりがな 河川名	オオハマカイガン 大浜海岸	ポイントとなるキーワード（5点以内）
		<ul style="list-style-type: none"> <li>●大浜海岸地域の活性化</li> <li>●清掃活動から始めよう</li> <li>●環境保全・環境整備に務める</li> <li>●海洋プラスチック防止問題</li> <li>●地球温暖化防止</li> </ul>
所在地	静岡県静岡市	
応募者名 所属	大石善博 静岡・海辺づくり会	エントリーNo.

# 第22回 しずおか川自慢大賞 応募申込書

(記入不要)  
エントリーNo.

ふりがな 河川名など	静岡県の素敵な溪流や海 (藁科川、大井川、伊豆半島など)				
所在地	静岡県 静岡市				
応募者	団体名 (個人の場合は氏名)	みずがき倶楽部			
	連絡先	住所	〒422-8071 静岡市 駿河区 豊原町 3-13-1		
		TEL	090-4448-3259	FAX	なし
		E-mail	mizugakiandy3259@yahoo.co.jp		
		ホームページURL	みずがき倶楽部 で検索を		
		連絡者名	安藤 一整		
		TEL	090-4448-3259	FAX	
テーマ又は 事業名など	心が動く瞬間！ (その笑顔が地球を救う！)				
活動期間	2000年 ~ この笑顔が地球を救う！				
主なフィールド 該当箇所に○印	川 / 用水路 / 湖沼 / ダム / 河口・干潟 / その他 / 海外部門				
主な取り組み型 該当箇所に○印	市民主導 / 学校主導 / パートナースhip / 行政主導 / その他 ( )				
主な活動主体 該当箇所に○印	子ども / 大人 / 行政 / 専門家 / 企業 / その他 ( )				
みんなに来てもらいた いイベント、活動	令和7年度みずがき倶楽部会員募集中		令和7年度みずがき倶楽部会員募集中		
	募集期間：毎年1月～3月20日 活動回数：1回/月(年12回)		・小学生、中学生だけでも応募可能。 ・申込はホームページで！		
アピールポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボディーラフティング、カヌー、ウミガメの産卵調査など四季おりおりのプログラムで楽しく自然体験</li> <li>・公募により小・中学生誰でも参加可能</li> <li>・少年には少年にしかできない体験を！</li> <li>・危険は避けるのではなく正しく学び正しく対処！</li> <li>・自然の中で楽しかった原体験がやがて環境を守る力に！</li> </ul>			 アンディ	
活動紹介キーワード (5点まで)	(本物の自然体験) (命の尊さ) (子供の自主性) (思いやりと助け合い) (ボランティアによる運営)				
活動場所の見取図	 でカヌー体験		 ボディーラフティング		
発表者人数等	・発表者人数 (大人 6名・子供 10名) ・交通手段 ( バス )				



～この笑顔が未来の環境を守る力に～

# みずがき倶楽部



所在地	静岡市	この笑顔が地球を救う
団体名	みずがき倶楽部	エントリーNo

子供の健全な成長にとって自然との触れ合いがとっても大切です。



「地域防災力の向上」をテーマに  
災害のリスクを減らすシステムづくりに  
取り組んでいます

リアルタイム情報収集システム(映像・センサー)  
災害情報システム・セキュリティ対策



# 有限会社 アーク

〒410-0022 静岡県沼津市大岡2435-1  
TEL 055-929-8000 FAX 055-929-8001

社会基盤の形成と環境保全の総合コンサルタント—人と地球の未来のために—

 いであ株式会社

## 環境創造研究所

—人と自然が調和した安全・安心で快適な環境の創造をめざして—

〒421-0212 静岡県焼津市利右衛門 1334-5  
TEL054-622-9551(代表)

本社

〒154-8585 東京都世田谷区駒沢 3-15-1  
TEL03-4544-7600(代表)  
ホームページ <http://ideacon.jp/>



駿河湾の本物お魚図鑑

毎年夏休みに生き物観察や化学実験などの体験学習会  
「なつやすみ! こども環境塾」を開催しています。  
今年の開催については下記 URL に掲載予定です。  
<https://www.ideacon.co.jp/news/2025/>



自然・環境と調和する「安心」を提供いたします

## 株式会社 イワタ

〒424-0065  
静岡県静岡市清水区長崎300番地  
TEL 054-345-1172  
・営業部・静岡営業所・浜松営業所・愛知営業所・大須賀工場  
<http://www.iwata-kk.co.jp/lsp/>

スプリットブロック 風来Ⅱ (明度4.5)  
(輝度の標準偏差 平均64)

スプリットブロック 天城 (明度5.0)  
(輝度の標準偏差 平均43)



日本の伝統漁法、しばあげ漁(麻機遊水地にて)

麻機遊水地保全活用推進協議会を応援しています。 [facebookはこちら↑](#)

その先にある笑顔をつくるために。

We walk together

## 昭和設計株式会社

建設コンサルタント・補償コンサルタント・測量調査・地質調査



本社 〒420-0006 静岡市葵区若松町 41 番地の 1  
TEL (054) 252-1820 (代) FAX (054) 252-1840  
E-mail [info@shizuoka-showa.co.jp](mailto:info@shizuoka-showa.co.jp)  
営業所: 富士市・袋井市・沼津市・焼津市・藤枝市・島田市・掛川市  
磐田市



HPはこちら↓

**楽しく元気に街づくり!**





**信建工業株式会社**  
 本社・工場/静岡県静岡市葵区千代1丁目18番29号  
 〒421-1212 TEL.054-276-2151 FAX.054-276-2154

詳しくはウェブサイトを見てね!





生物生息場形成用『石倉カゴ』


ポリエステルモノフィラメント亀甲網で造った**耐久性のある樹脂製カゴ**が、**金属と違い、10年20年にわたるウナギとの付き合いを可能にする**。伝統漁法である石倉漁と伝統土木工法である蛇カゴの長所を組み合わせ造った、**ウナギと餌生物の生息場所**。

特許出願済



石倉カゴの設置



↑石倉カゴを棲み処にし、捕獲されたウナギ40個体

製造・販売  
**FUTABA**  
 株式会社フタバコーゲル  
 〒424-0943 静岡県静岡市清水区港町1-6-4  
 TEL.054-352-1116 FAX.054-352-4085  
<http://www.futaba-k.co.jp>

**MC防水ウォール**

洪水被害からから**生命と財産**を守ります

安心・安全なまちづくりに貢献する




**丸栄コンクリート工業株式会社**

■静岡支店 TEL <0537>72-2221

- 沼津営業所 TEL <055>926-3811
- 静岡営業所 TEL <054>287-5088
- 掛川営業所 TEL <0537>72-2221
- 浜松営業所 TEL <053>460-6661

協 賛

静岡県河川協会

有限会社 アーク

いであ株式会社 環境創造研究所

株式会社 イワタ

昭和設計株式会社

信建工業株式会社

株式会社フタバコーケン

丸栄コンクリート工業株式会社

